現在、「劇団シンデレラ」の座長を務める伊藤朋子（フローレスともこ）さん。「劇団シンデレラ」は「生きものと人とのかかわり」を描いたミュージカルをこの地域はもとより、全国で公演し、「美しい自然を守る」「ごみをポイ捨てしない」等の環境美化等の普及啓発に貢献した功績により、令和4年度に環境大臣表彰を受賞しています。伊藤さんが環境活動を始めたきっかけは、25年前に観光で訪れた知床自然センターでネイチャーガイドの濱本真琴さんと出会ったことだそうです。濱本さんが森の中を元気に楽しくガイドする姿に感動し、自分も100年後の地球を緑でいっぱいにしたいと思ったそうです。今回は、そんな伊藤朋子さんにお話を伺ってみました。

「生物多様性の保全やSDGs、地球温暖化ストップ、クールチョイスが当たり前になる社会が理想です。」

劇団シンデレラ
座長　伊藤朋子（フローレスともこ）さん

●「また観たい」の一言が劇を続ける支えです。

劇団の仲間が頑張っている姿や、日本中にいる自然を愛する関係者たちと一緒に同じ未来を歩けることを誇りに思っているので、今の劇団の活動をやめたいと思ったことは一度もありません。何より、環境活動をしている他の仲間との出会いや、劇を観てくださった方の、「また観たい」との言葉が劇団を続ける支えになっています。

他にも劇団の子どもたちが「湿地や森がなくなったら、渡り鳥たちが休憩できないよ」という言葉を発するなど、生きものたちの気持ちがわかるようになってきた時や、自然観察会の後にすすんでゴミ拾いをするなど環境に配慮する姿を見た時は劇団を続けてきてよかったと感じますね。

●「自分にできることは何か」を考えてみては？

環境活動に興味があるけれど、どう始めていいかわからない人もいるかと思いますが、まず手始めに10年後、100年後に緑いっぱいの地球と緑が少ない地球のどちらがいいかを具体的に想像してみるのも一つの手段です。おそらく多くの方が、緑いっぱいの地球がいいと思うでしょう。そのために自分にできることは何だろうと心の中で考え、行動してみることが大切だと思います。

●これからも多くの人たちに生きものたちの声を届けます！

2030年にSDGsの17の目標が達成できるように、10年後、100年後の地球が緑いっぱいの星になるように、これからも劇団シンデレラはミュージカルを通じて、多くの人たちに生きものたちの声を届けます！ぜひ、応援よろしくお願いします！

劇団の皆さんの熱演風景

森・緑の育成活動

壱町田湿地を守る会

壱町田湿地植物群落地内の隣地樹林の伐採等による里山の回復、整備

知多郡武豊町内において、植生遷移や開発により生物多様性が失われつつある壱町田湿地の保全に向けた整備活動と勉強会を、小中学生ボランティアやその保護者、地域の方々と共に実施しました。

本事業の実施により、壱町田湿地保全の重要性を参加者と共有できました。また、小中学生の参加者が、整備活動の実体験をしたことで、道具を使う面白さを伝えることができました。

会長　畠 烈さん

今日の活動をとおして木や自然の大切さがわかった。木を切る作業以外に、湿地の様子や虫を見ることができてとてもよかった。

参加した方の声

水と緑の恵み体感

江南市

江南市環境学習会

次世代を担う子供達が、自然の大切さを学び生物や植物を大切にする心を育むことを目的に、水辺の生物調査や昆虫観察、どんぐりの植栽等をテーマとした学習会を開催し、緑づくりの大切さを伝えることができました。

川や雑木林で植物や生きものたちに触れ、その体験を通して自然の素晴らしさや不思議さを学ぶ講座です。子供たちが自然を体で感じ、成長する機会になれば嬉しいです。

学習会担当講師
川口　邦彦さん

森や緑の大切さがわかりました。生き物同士のつながりや自然の中の役割も知ることができました。

参加した方の声

森林生態系保全の学習

KaMiTaKiMi自然探検隊

上鷹見小学校区　自然学習・活用検討事業
～かみたきみの自然を知ろう・活用を考えよう～

上鷹見小学校の生徒を中心とした「自然探検隊」が、ラムサール条約登録湿地の上高湿地など、豊田市立上鷹見小学校区内にある自然スポットを探検することで、自然の大切さを学ぶと共に、それらの活用について考えました。

夜間の昆虫観察会や川の観察会においては、当初想定していなかった以上の規模で開催でき、参加者のみんなで地域の自然について学習することができました。

代表　三宅　学さん

こんなにたくさんの貴重な植物や昆虫などがいることがわかってうれしかったです。これからもこの自然を大切に守っていきたいと思いました。

参加した方の声

太陽・自然の恵み学習

春日井市

緑のカーテン啓発事業

公共施設やかすがいエコオフィスで緑のカーテンを育成し、市民向けの緑のカーテン育成講座では実践的な知識の普及啓発を行いました。また、市の環境啓発イベントでもパネル展示を行い、効果を広く周知しました。

夏の日ざしよけとゴーヤ収穫の２つの利点があることを知ることができました。自宅の温度を下げ、電気の消費を少なくすることで温暖化対策をしたいです。

参加した方の声

学校や保育園、かすがいエコオフィスも参加し、様々な方が緑のカーテンの効果を実感できたと思います。また、育成講座の実施により幅広く啓発することができました。

春日井市役所環境部環境推進担当主査　志津　明典 さん

独自提案による環境保全活動・環境学習

尾張すずなり会

里山里地豊かなみどりづくり事業

里山を緑豊かに、生物多様性にも配慮した自然環境の保全整備をしています。四季折々に、親子で参加できる里山講座を開催し、次世代を担う子どもたちに里山の森林の素晴らしさや、多くの生物が生きていることの重要性を伝えています。

雑木林の除伐、間伐、風倒木の処理や草刈りの活動作業は毎年欠かすことはできず、かなりの日数を要しますが、里山講座に参加する子供たちの楽しむ姿を見ると、やりがいがあります。

代表　鈴木　藤夫さん

ビオトープがすてきでした。森の探検、虫取り、栗拾いなど、色々な体験ができてとても楽しかったです。森のことを大切にしたいです。

参加した方の声

生態系ネットワーク形成

西三河生態系ネットワーク協議会

植樹用地の伐採整備事業

矢作川支流乙川水源地にあたる岡崎市の公有林13.5haを借り受け、未利用産業林を伐採し、生物多様性の森づくりをしています。

今年で7回目となる35年生の桧300本ほどの伐採は、およそ2,200㎡程の広範囲にわたり、傾斜地で危険性も伴う作業だったため、専門家に依頼でき、とても助かりました。

特定非営利活動法人アースワーカーエナジー
理事長　小原　淳さん

架線出し作業に初めて関わり、山の自然のダメージの少ない伐採と丸太搬出が経験でき、良かったです。

参加した方の声